

2019年6月 定時評議員会 議事録

1. 日 時 2019年6月14日(金) 15時～17時30分
2. 場 所 政治経済研究所 3F 会議室
3. 住 所 〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4
4. 出席者 評議員：赤澤史朗、前畑憲子、大石雄爾、小野塚春吉(議長)、早乙女勝元
坂本暉正、柳沢遊
(評議員11名中7名出席)
理 事：鶴田満彦(代表理事)、相田利雄、勝又信夫、北村浩、合田寛
塩澤俊之、山辺昌彦、渡辺新、吉田裕、斉藤正美
(理事10名中10名出席)
監 事：浦田賢治、菅隆徳
(監事2名中2名出席)

I 開会ならびに事務局説明

- ・事務局より、評議員11名中7名が出席で定数を満たしたことが確認され、定刻通りに開会が告げられた

II 議事の経過及び結果

- ・定款第22条第2項ならびに評議員会運営規則第8条の規定により、小野塚春吉評議員会長を議長として以下逐次審議した。
- ・審議に先立ち、評議員会会長のあいさつが行われ、本日議事録署名人として早乙女評議員、坂本評議員が選任された。
- ・会議招集者として鶴田満彦代表理事より挨拶がなされ、法人の近況が説明された。

III 審議事項

第1号議題 定期提出書類について

議案1 2018年度事業報告書について

①公益目的事業I

渡辺理事より、公益目的事業I(公1)、『政経研究』奨励賞、研究費配分、科学研究費による研究事業、研究成果の公表と刊行物の配布、調査研究の社会的還元事業、図書資料の整理)の報告が行われた。

②公益目的事業II

山辺理事より、公益目的事業II(公2)(調査研究事業、東京大空襲を語り継ぐつどい、2018年夏休み特別企画などの開催、体験記集の刊行、リニューアル、戦災資

料センターへの来館と維持会員・募金の状況、『東京大空襲・戦災資料センターニュース』の刊行)の報告が行われた。

③収益事業等

渡辺理事より、収益事業等について、収益事業の状況と、今後の方針についての報告が行なわれた。

④業務管理

渡辺理事より、業務管理(会員の状況、理事会の状況、研究委員会の状況、組織整備の状況)について報告が行われた。

評決の結果、①～④について、有効議席6名中・賛成6名で承認可決した。

議案2 2017年度決算書類修正

勝又理事より、2017年度決算書類の修正について報告が行われた。評決の結果、有効議席6名中・賛成6名で承認可決した。

議案3 2018年度決算書について

勝又理事より、2018年度決算書について報告が行われた。評決の結果、有効議席6名中・賛成6名で承認可決した。

議案4 監事監査報告書について

菅監事より、監事監査報告書について報告が行われた。評決の結果、有効議席6名中・賛成6名で承認可決した。

第1号議題に対する評議員からの意見

- ① SNSの活用を組織的に、積極的に行い、世界的に認知度を高めるべきである
- ② 評議員に対する情報発信は少なくとも行うべきである
- ③ 研究所は、他の研究所と連携をするなど、組織的な開放性を高めるべきである
- ④ 研究員の状況の把握について、取り組みを進めるべきである

第2号議題 役員等改選について

議案1 理事候補者について

鶴田代表理事より、次期理事候補者(相田利雄、石田博美、小川雅人、合田寛、斉藤正美、中川雄一郎、長谷川元彦、原富悟、吉田裕、渡辺新)について紹介が行われ、選任の可否について評決を求めた。

評議員は、有効議席6名中6名の賛成で承認可決した。

議案2 監事候補者について

鶴田代表理事より、次期監事補者（国吉昌晴、西森亮太）について紹介が行われ、選任の可否について評決を求めた。

評議員は、有効議席6名中6名の賛成で承認可決した。

議案3 評議員候補者について

鶴田代表理事より、次期評議員候補（赤澤史朗、秋永佳子、上原淳子、内田敬子、大日方純夫、北村浩、紺井博則、坂本暉正、建部正義、萩原伸次郎、星野輝夫、前畑憲子、山田朗）について紹介が行われ、選任の可否について評決を求めた。

評議員は、新任の評議員（秋永佳子、内田敬子、上原淳子、大日方純夫、北村浩、紺井博則、萩原伸次郎、星野輝夫、山田朗）について、有効議席6名中6名の賛成で承認可決した。

続いて評議員は、再任の評議員（赤澤史朗、坂本暉正、建部正義、前畑憲子）について、有効議席5名中5名の賛成で承認可決した。

第2号議題に対する評議員からの意見

①センターの状況を見た場合、空襲を専門とする評議員を入れてもいいのではないかと。

IV 報告事項

報告事項1 公益法人会計ならびに法人内部門会計について

松田事務局員より、公益法人会計ならびに法人内部門会計について報告が行われた。

報告事項2 リニューアル募金の使途について

松田事務局員より、リニューアル資金の使途について、詳細な報告が行われた。

報告事項3 戦災資料センター関連研究員の研究テーマについて

山辺理事より、戦争災害研究室の研究員の本務校・専攻・研究テーマについて報告が行われた。

III その他 浦田監事からの意見

浦田監事より次の3点が、監事の意見として提出された。

①役員の設定について。業務執行理事2名以内を置くことができると改め、専務理事1名を置くこととする。

②役員に対する報酬等について。第33条第2項(3)を改正し、第2項(4)を起こし、次のように規定する。

- ・専務理事に対する報酬及び費用

③専務の報酬について

- a) 報酬の性質は職務給と称すること。
- b) 報酬の額は、月給 25 万円の 12 ヶ月分とすること。

このねらいとして、浦田監事は次の 3 点を提示した。

I 役員に使用人給が支払われている状況を解消する

II 職員給与が時給 1000 円に抑えられている状況を改善する

III 専務理事にセンターと研究所間の関係改善の要としての役割を期待する

また、こうした主張の背景として、学識者を含めたグループが公益財団法人の収支相償の原則について疑義を示し、社会的に意見表明を行っている事実が指摘された。

議長は、上記の意見を理事会でよく検討するよう、理事会に要請した

小野塚議長より、以上をもって本日の議事を終了することが告げられた。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人および出席監事は押印する。

2019 年 6 月 21 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 小野塚春吉



署名人 早乙女勝元



坂本 暉正



出席監事 浦田 賢治



菅 隆徳

